

(資料6)

多面的機能支援事業 の最終評価について

埼玉県農林部
農村整備課

1

1 最終年評価の進め方について

- 国は多面的機能支払交付金実施要綱に基づき第三者委員会を設置し、交付状況の点検及び効果の評価を行い施策に反映させる
- 県は多面的機能支払の実施に関する基本方針及び日本型直接支払推進交付金実施要綱に基づき第三者委員会を設置し、交付金実行状況の点検、取組の評価等を行い翌年度の取組みに反映させる

国

第三者委員会：交付状況の点検及び効果の評価

評価

(1) 効果

- ・ 地域の保全管理
- ・ 農業用施設の機能増進
- ・ 構造改革の後押し等地域農業への貢献
- ・ 農村環境の保全・向上
- ・ 農村地域の活性化
- ・ 自然災害の防災・減災・復旧

(2) 課題等

- ・ 農振農用地以外の農用地における水路等の老朽化の進行により施設の機能の低下
- ・ 広域化の推進や非農業者等多様な主体の参加などによる体制強化
- ・ 多面的機能の増進を図る活動の一層の活発化
- ・ 長寿命化対策における整備規模に応じた他事業との連携、効率的な工法の選定等

施策に反映

埼玉県

活動組織：活動実績、自己評価

報告

市町村：活動組織の活動実績・自己評価等をもとに、市町村が評価

県がとりまとめて報告

第三者委員会：実行状況の点検、活動組織の取組及び事業の評価

取組に反映

2 評価の視点と調査方法について①

目的

- 多面的機能の維持・発揮
- 構造改革の後押し
(担い手農家への農地集積)

6つの評価視点

- (1) 地域資源の保全管理 (2) 農村環境の保全・向上
- (3) 農業用施設の機能増進 (4) 農村地域の活性化
- (5) 構造改革の後押し等地域農業への貢献 (6) 自然災害の防災・減災・復旧

- 最終評価は、「地域資源の保全管理」、「農村環境の保全・向上」、「農業用施設の機能増進」、「農村地域の活性化」及び「構造改革の後押し等地域農業への貢献」、「自然災害の防災・減災・復旧」の6つの視点で評価
- 調査方法は、平成30年度多面的機能支払交付金の効果等に関するアンケート調査(105組織)による

【評価区分】

- a. ほとんどの組織で効果が発現している、又は、発現が見込まれる
(全体の8割程度以上で効果が発現している、又は、発現が見込まれる)
- b. 大半の組織で効果が発現している、又は、発現が見込まれる
(全体の5割程度以上8割程度未満で効果が発現している、又は、発現が見込まれる)
- c. 一部の組織で効果が発現している、又は、発現が見込まれる
(全体の2割程度以上5割程度未満で効果が発現している、又は、発現が見込まれる)
- d. 効果の発現が限定的である、又は、発現の見込みが限定的である
(全体の2割程度未満で効果が発現している、又は、発現が見込まれる)

2 評価の視点と調査方法について②

【評価視点】

(1) 地域資源の保全管理

(2) 農村環境の保全・向上

(3) 農業用施設の機能増進

(4) 農村地域の活性化

(5) 構造改革の後押し等地域農業への貢献

(6) 自然災害の防災・減災・復旧

(1) 地域資源の保全管理

①農地の保全管理

効果項目	評価			
	a	b	c	d
遊休農地の発生や面積拡大を抑制	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
病害虫の発生やゴミの不法投棄等の抑制により、営農への支障が低減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農用地での鳥獣被害が抑制	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農業者の保全管理作業に係る負担の軽減により、適切な保全管理が可能	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

②農業用施設の機能維持

効果項目	評価			
	a	b	c	d
農業用施設の機能が維持され、適切に保全管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
異常気象等による被害の拡大等の抑え、災害が発生した場合でも迅速な対応が可能	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農業者による農業用施設の保全管理作業に係る負担が軽減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

③地域資源の保全管理体制の維持・強化

効果項目	評価			
	a	b	c	d
地域をまとめ、行動を起こすリーダーや役員が育成	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
集落間や集落内で協力して行う取組や非農業者が参画する取組が増加する等、地域資源の保全管理のための体制が強化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(2) 農村環境の保全・向上

効果項目	評価			
	a	b	c	d
地域の景観が保全・向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
地域の生態系や水質が保全・向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
伝統的な農業技術や農業に由来する行事、伝統文化の継承・復活	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
活動に対する関心や理解、協力意識が向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(3) 農業用施設の機能増進

効果項目	評価			
	a	b	c	d
施設の長寿命化の活動により、農業用排水路等の機能が増進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
長寿命化の活動に対する関心や理解、協力意識が向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農業用施設の補修技術や知識が向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農業者による農業用施設の日常の維持管理に係る負担が軽減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(4) 農村地域の活性化

効果項目	評価			
	a	b	c	d
地域ぐるみの関わりが増えて地域活性が高まり、地域コミュニティの維持・強化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
集落の枠を超えた話し合いや活動等が増え、集落間の交流が活性化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(5) 構造改革の後押し等地域農業への貢献

効果項目	評価			
	a	b	c	d
担い手農家等への農地集積に向けた取組が推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
農業の担い手の育成が推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取組が契機となり、新たな生産品目の導入、経営の複合化、6次産業化等の取組が推進	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
大区画化等の生産基盤整備に対する意識の向上	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

(6) 自然災害の防災・減災・復旧

効果項目	評価			
	a	b	c	d
水路の適正管理により水害防止、法面管理による崩落防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

3 H30実績について

【県内の実施状況】

(1) 市町村数：47（うち農振地域：45） 割合84.9%（45／農振市町村数53）

(2) 活動組織数：350

（広域活動組織含む）うち農地維持支払	350
資源向上支払（共同）	215
資源向上支払（長寿命化）	77

(3) 取組面積：16,427ha

うち農地維持支払	16,427ha
資源向上支払（共同）	7,856ha
資源向上支払（長寿命化）	3,504ha

(4) カバー率※ 27.6%

※農振農用地（田畑）59,506haに対する取組実施面積

4 自己評価、市町村評価について

【平成29年度評価】

- (1) 農地維持活動における「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」
 - ・活動を実施している活動組織数 153組織
 - ・市町村の評価結果 優良19組織、適当129組織、要指導・助言3組織、
要根本的見直し2組織
- (2) 資源向上活動（共同）における「多面的機能の増進を図る活動」
 - ・活動を実施している活動組織数 13組織
 - ・市町村の評価結果 優良2組織、適当11組織、要指導・助言0組織

【平成30年度評価】

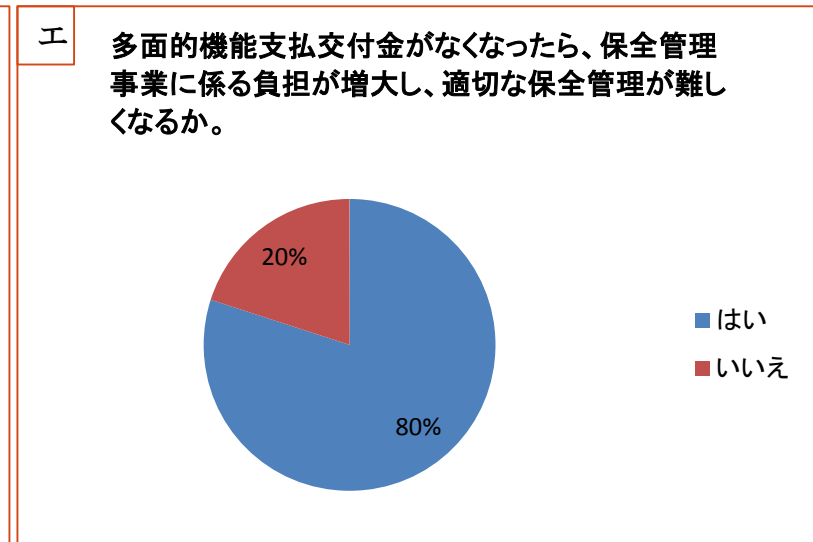
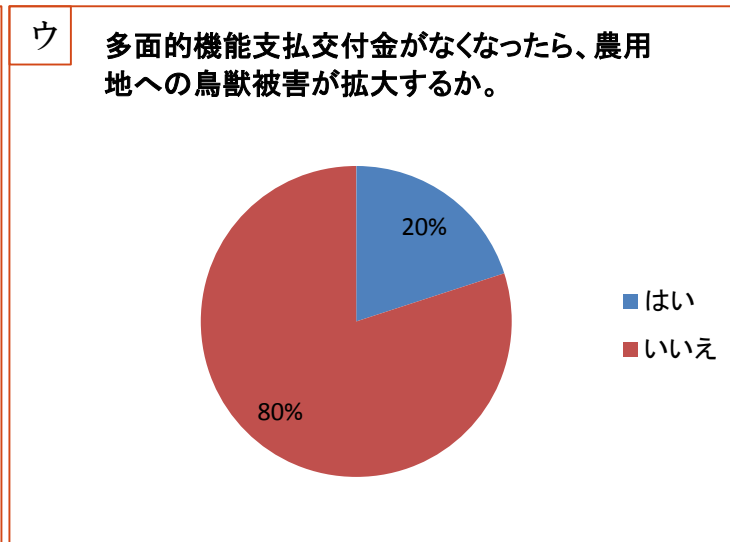
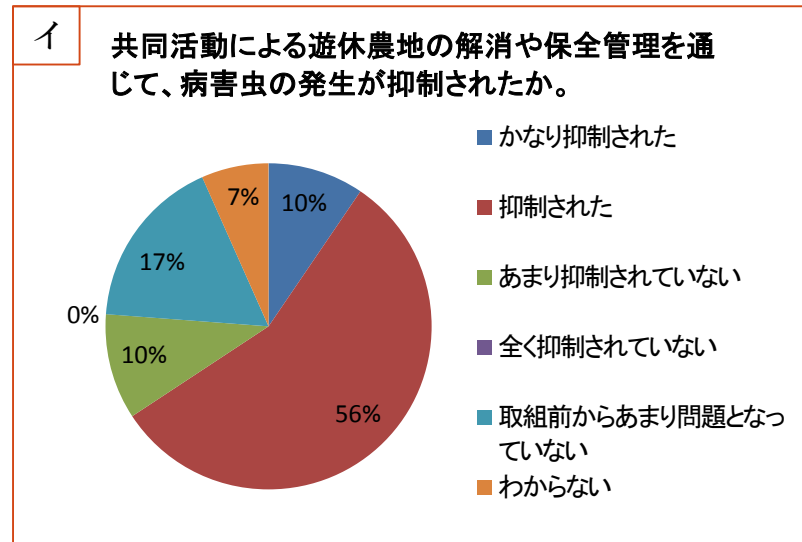
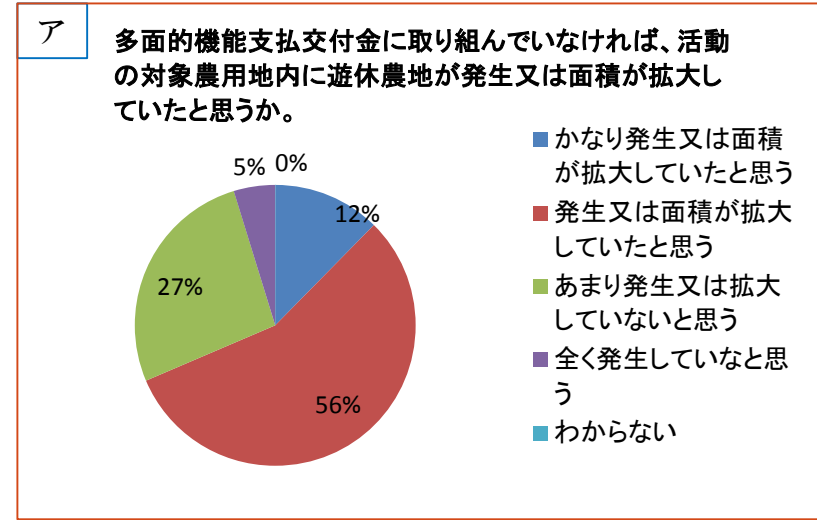
- (1) 農地維持活動における「地域資源の適切な保全管理のための推進活動」
 - ・活動を実施している活動組織数 166組織
 - ・市町村の評価結果 優良21組織、適当133組織、要指導・助言12組織、
要根本的見直し0組織
- (2) 資源向上活動（共同）における「多面的機能の増進を図る活動」
 - ・活動を実施している活動組織数 21組織
 - ・市町村の評価結果 優良2組織、適当19組織、要指導・助言0組織

5 効果の発現状況

(1) 地域資源の保全管理 ①農地の保全管理

効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 遊休農地の発生や面積拡大を抑制	■	□	□	□
(イ) 病害虫の発生やゴミの不法投棄等の抑制により、営農への支障が低減	□	■	□	□
(ウ) 農用地での鳥獣被害が抑制	□	□	□	■
(エ) 農業者の保全管理作業に係る負担の軽減により、適切な保全管理が可能	■	□	□	□

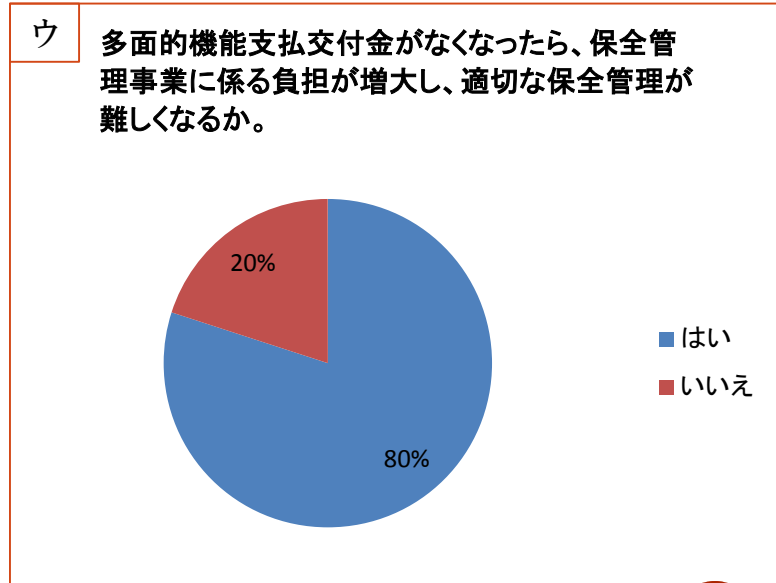
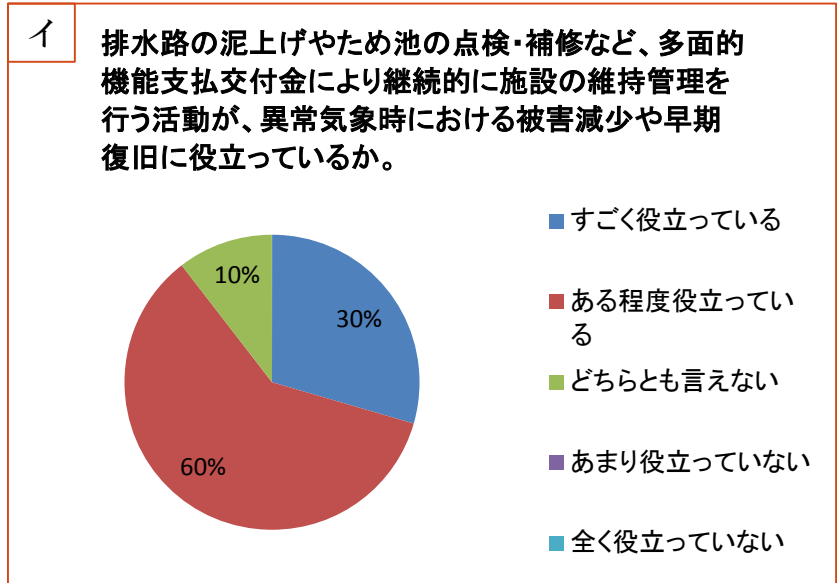
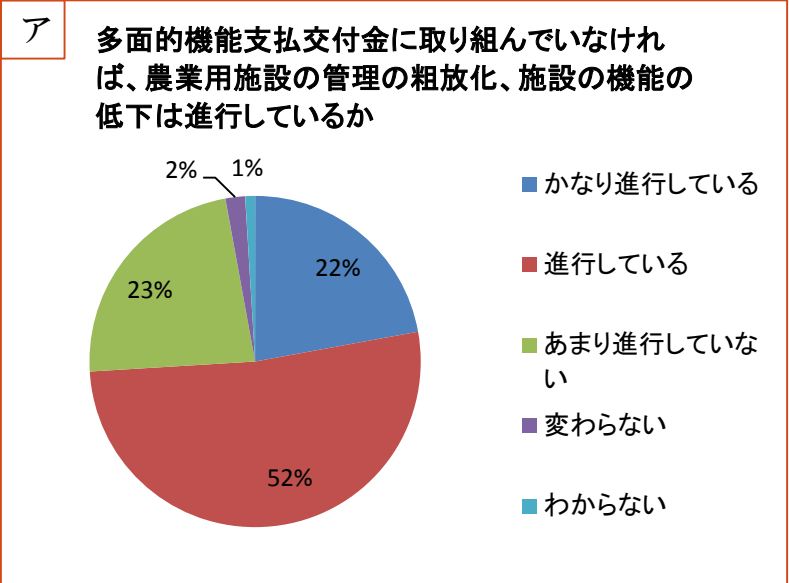
取組により、遊休農地の発生や面積拡大を防ぐなどの地域資源の適切な保全管理に寄与している。鳥獣被害については、被害の少ない平坦地で活動を行っている組織が多いため、効果発現が低い結果となっている。



(1) 地域資源の保全管理 ②農業用施設の機能維持

効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 農業用施設の機能が維持され、適切に保全管理	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(イ) 異常気象等による被害の拡大等の抑え、災害が発生した場合でも迅速な対応が可能	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
(ウ) 農業者による農業用施設の保全管理作業に係る負担が軽減	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

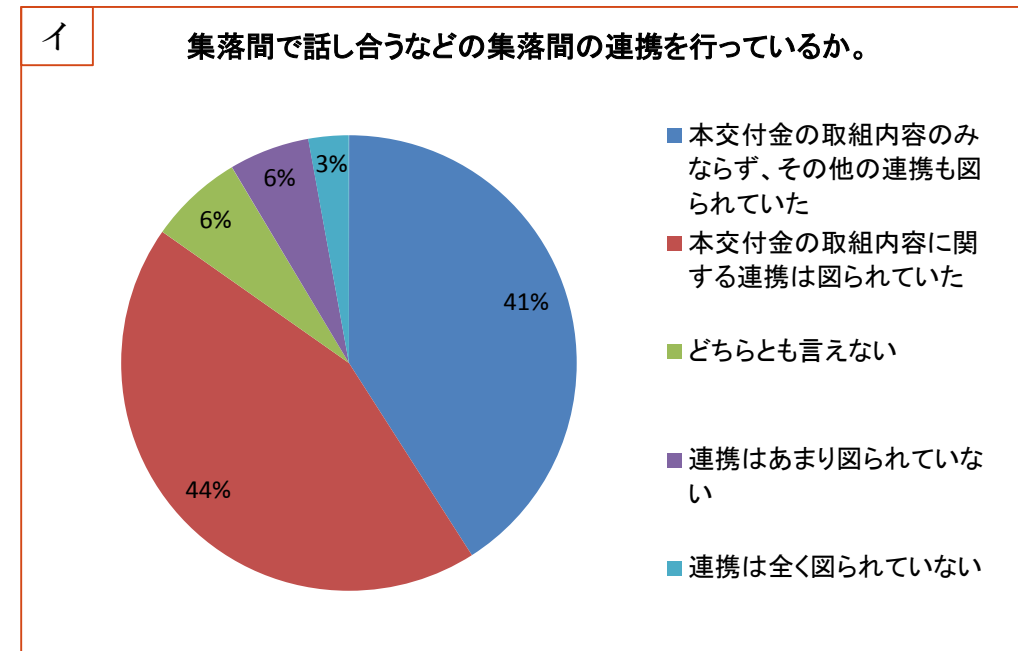
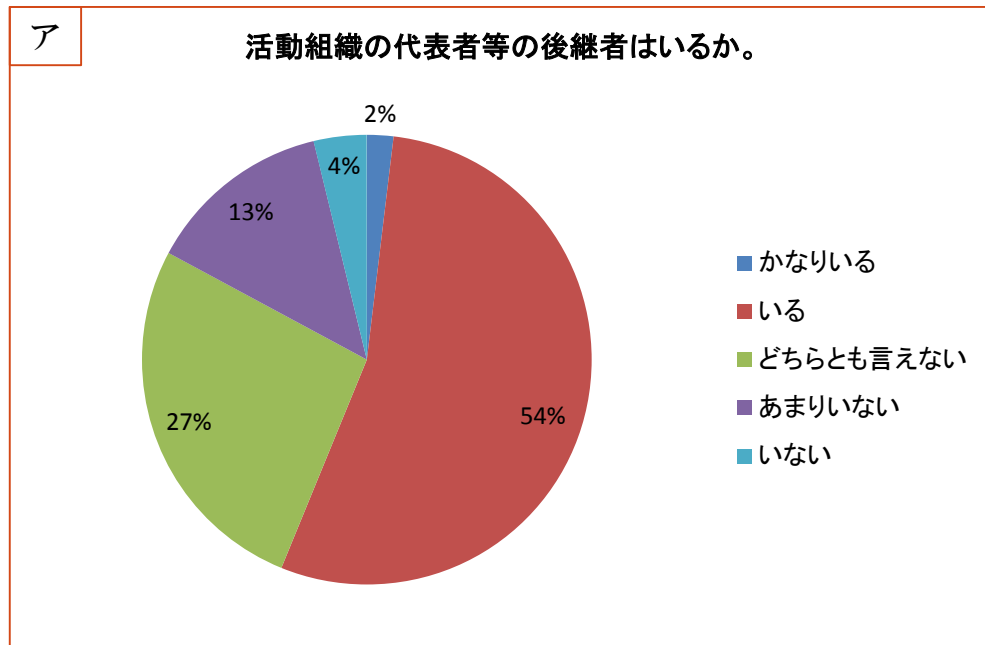
取組により、農業用施設が適切に管理されるとともに、異常気象時の被害拡大を抑えるなど農業用施設の機能維持に寄与している。



(1) 地域資源の保全管理 ③地域資源の保全管理体制の維持・強化

効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 地域をまとめ、行動を起こすリーダーや役員が育成	□	■	□	□
(イ) 集落間や集落内で協力して行う取組や非農業者が参画する取組が増加する等、地域資源の保全管理のための体制が強化	■	□	□	□

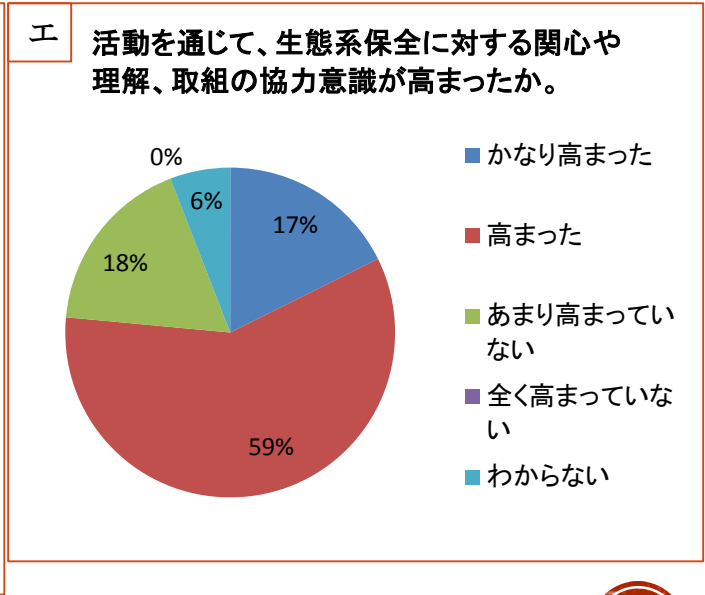
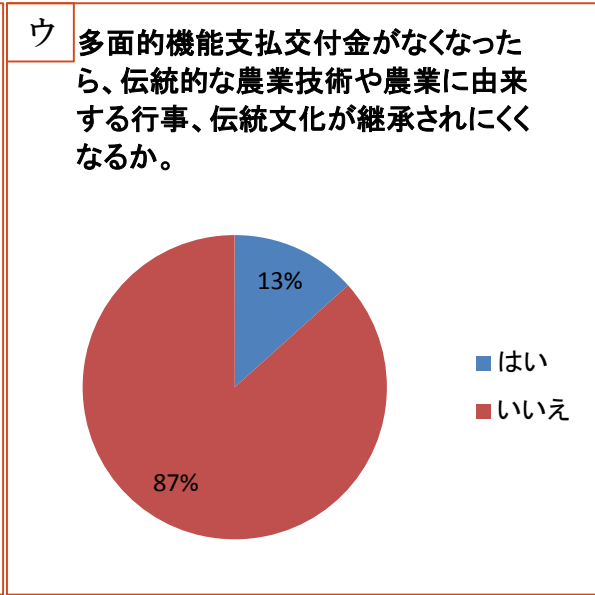
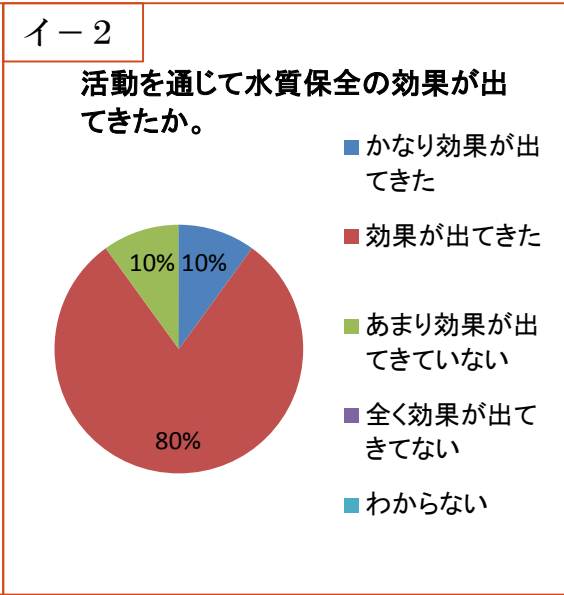
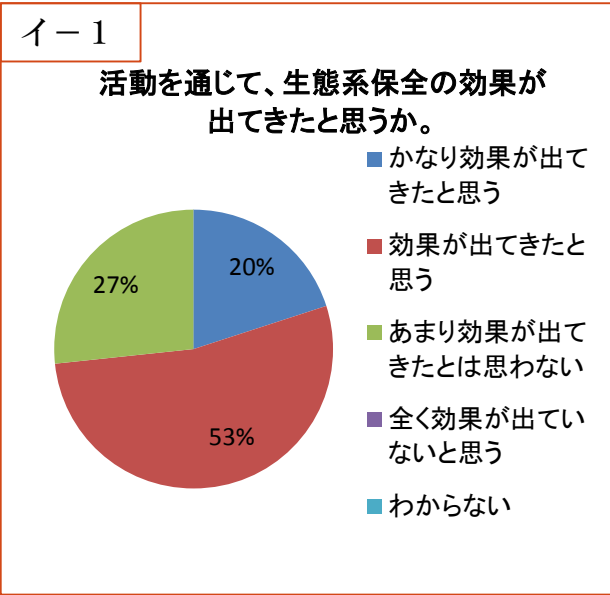
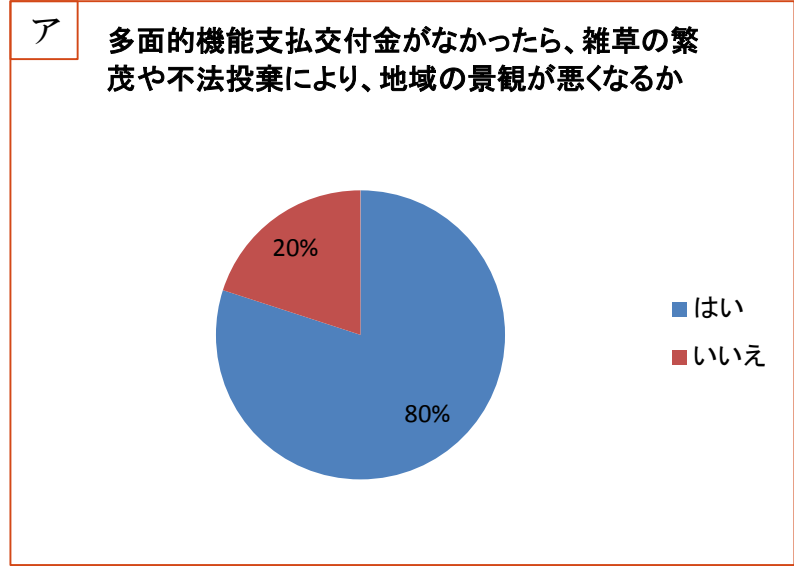
取組により、活動組織の代表者等の後継者が育成されたり、集落内で話し合うなどの連携が図られ地域資源の保全管理体制の維持強化にも寄与している。



(2) 農村環境の保全・向上

効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 地域の景観が保全・向上	■	□	□	□
(イ) 地域の生態系や水質が保全・向上	■	□	□	□
(ウ) 伝統的な農業技術や農業に由来する行事、伝統文化の継承・復活	□	□	□	■
(エ) 活動に対する関心や理解、協力意識が向上	□	■	□	□

取組により、地域の景観が保全・向上されたり、生態系、水質保全に係る意識の向上や協力意識が高まってくるなど農村環境の保全・向上に寄与している。

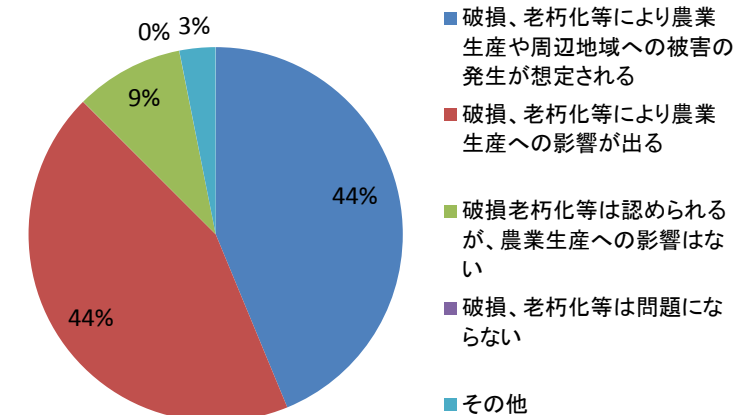


(3) 農業用施設の機能増進

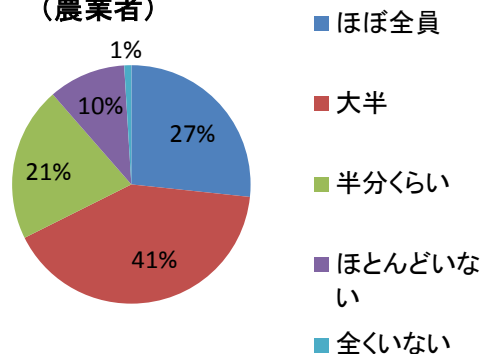
効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 施設の長寿命化の活動により、農業用排水路等の機能が増進	■	□	□	□
(イ) 長寿命化の活動に対する関心や理解、協力意識が向上	□	■	□	□
(ウ) 農業用施設の補修技術や知識が向上	■	□	□	□
(エ) 農業者による農業用施設の日常の維持管理に係る負担が軽減	■	□	□	□

長寿命化の取組により、農業用施設の機能増進に寄与しているほか、長寿命化活動に対する協力意識や補修技術が向上したり、日常の維持管理に係る負担が軽減したりなどの成果もあがっている。

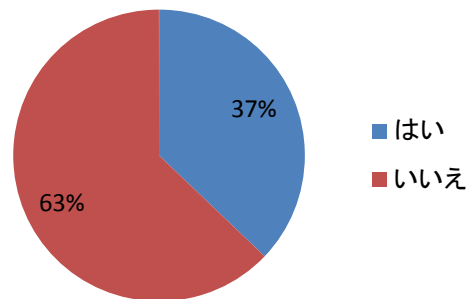
ア 資源向上(長寿命化)に取り組まなかった場合、10年後に農業用排水等はどうなるか。



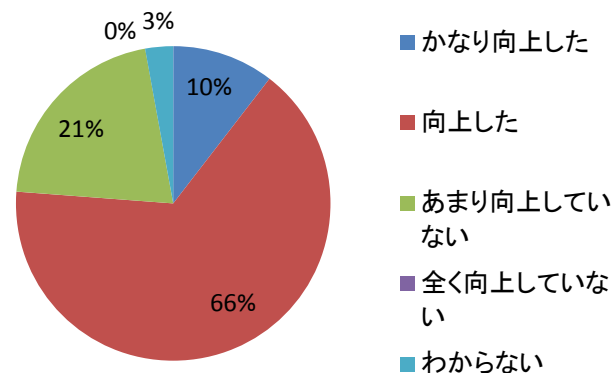
イ-1 保全活動に関して、意識が高いと思われる方はどの程度いるか。(農業者)



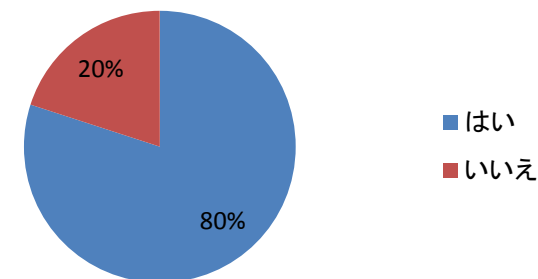
イ-2 多面的機能支払交付金がなくなったら、協力した取組が減少し連携が弱まるか。



ウ 活動を通じて、地域資源の保全管理に対する構成員の知識・補修等の技術力が向上したか。



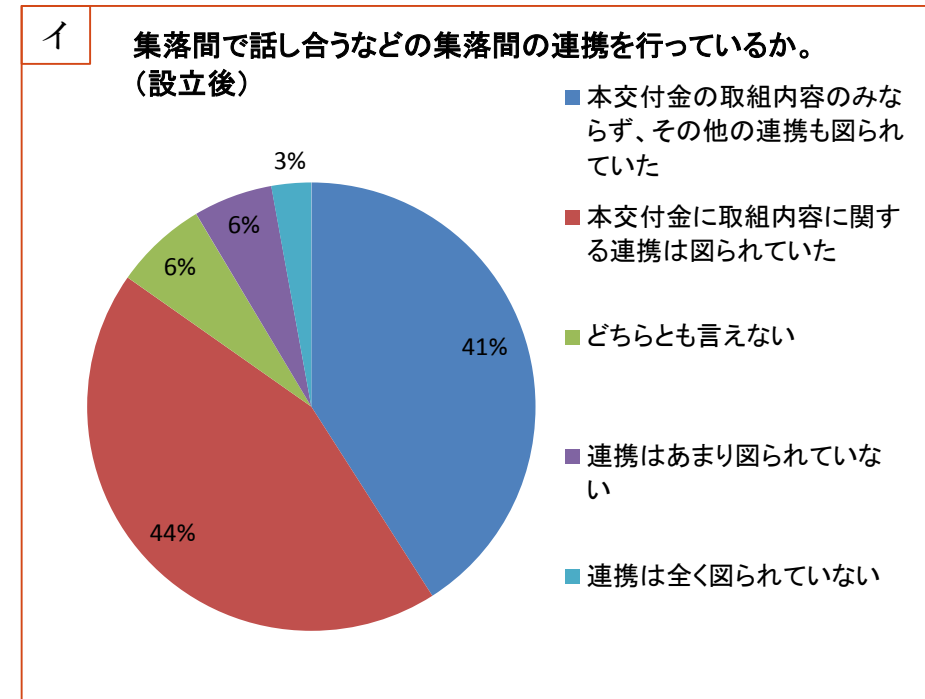
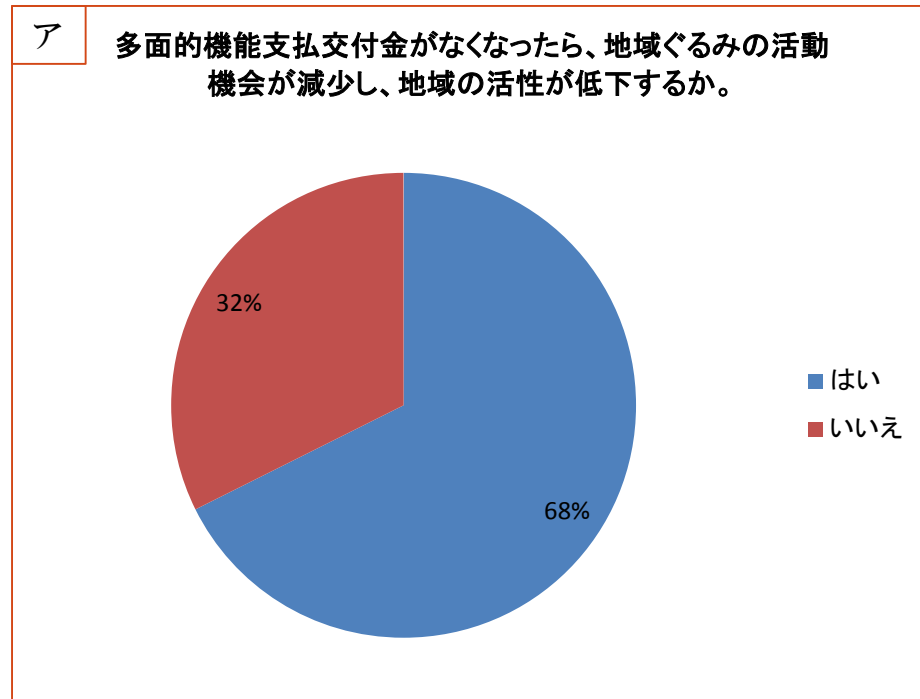
エ 多面的機能支払交付金がなくなったら、保全管理作業に係る負担が増大し適切な保全管理が難しくなるか。



(4) 農村地域の活性化

効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 地域ぐるみの関わりが増えて地域活性が高まり、地域コミュニティの維持・強化	□	■	□	□
(イ) 集落の枠を超えた話し合いや活動等が増え、集落間の交流が活性化	■	□	□	□

取組により、集落間で話し合うなど連携しながら、地域ぐるみの活動を行うことにより地域コミュニティの維持強化が図られ、農村地域の活性化に寄与している。

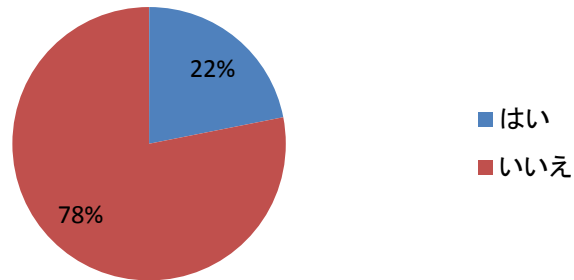


(5) 構造改革の後押し等地域農業への貢献

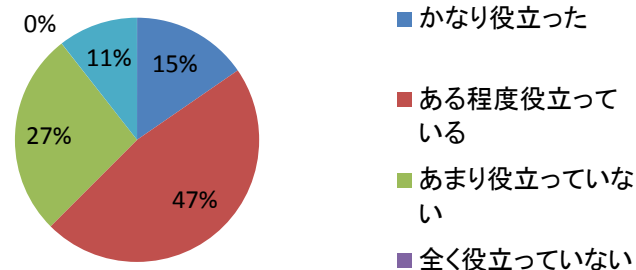
効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 担い手農家等への農地集積に向けた取組が推進	□	□	■	□
(イ) 農業の担い手の育成が推進	□	□	■	□
(ウ) 取組が契機となり、新たな生産品目の導入、経営の複合化、6次産業化等の取組が推進	□	□	□	■
(エ) 大区画化等の生産基盤整備に対する意識の向上	□	■	□	□

地域の保安全管理に重点を置いて活動を行っている組織が多く、構造改革の後押し等地域農業への貢献についての意識が少ない結果となっている。

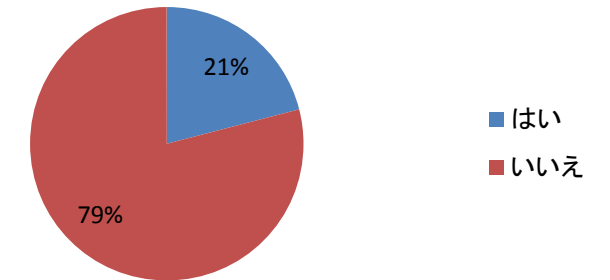
ア 多面的機能支払交付金がなくなったら、担い手農家等への農地集積が停滞するか。



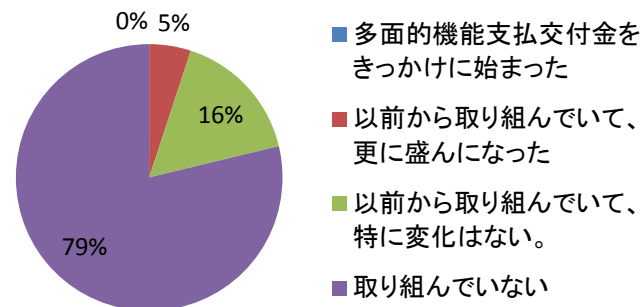
ア-2 農地集積に向けた話し合いのきっかけになるなど、多面的機能支払交付金の取組は役立っているか。



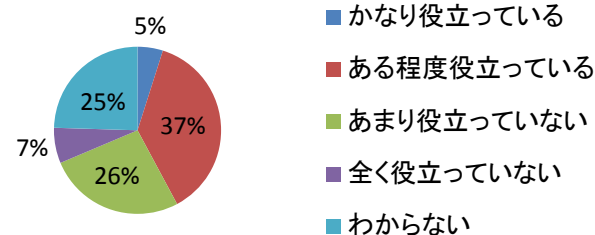
イ 多面的機能支払交付金がなくなったら、農家の担い手が育成されにくくなるのか。



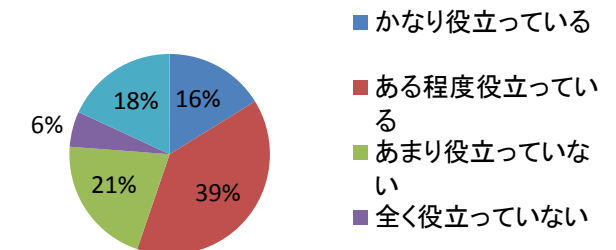
ウ-1 6次産業は盛んになったか。



ウ-2 多面的機能支払交付金の取組は、新たな生産品目づくり、農業経営の複合化、6次産業化などのきっかけになるなど、地域農業の発展に役立っているか。



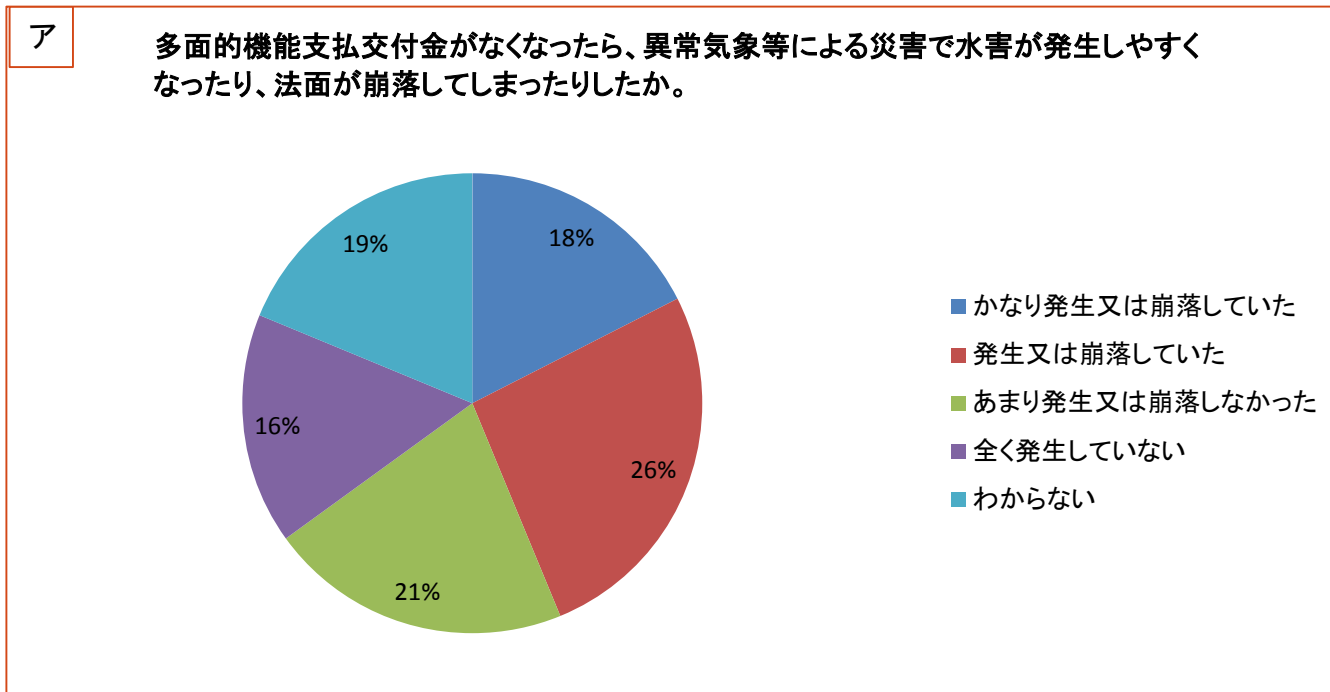
エ 多面的機能支払交付金の取組は、農業生産基盤整備に実施や検討開始のきっかけになるなど、役立っているか。



(6) 自然災害の防災・減災・復旧

効果項目	評価			
	a	b	c	d
(ア) 水路の適正管理により水害防止、法面管理による崩落防止	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

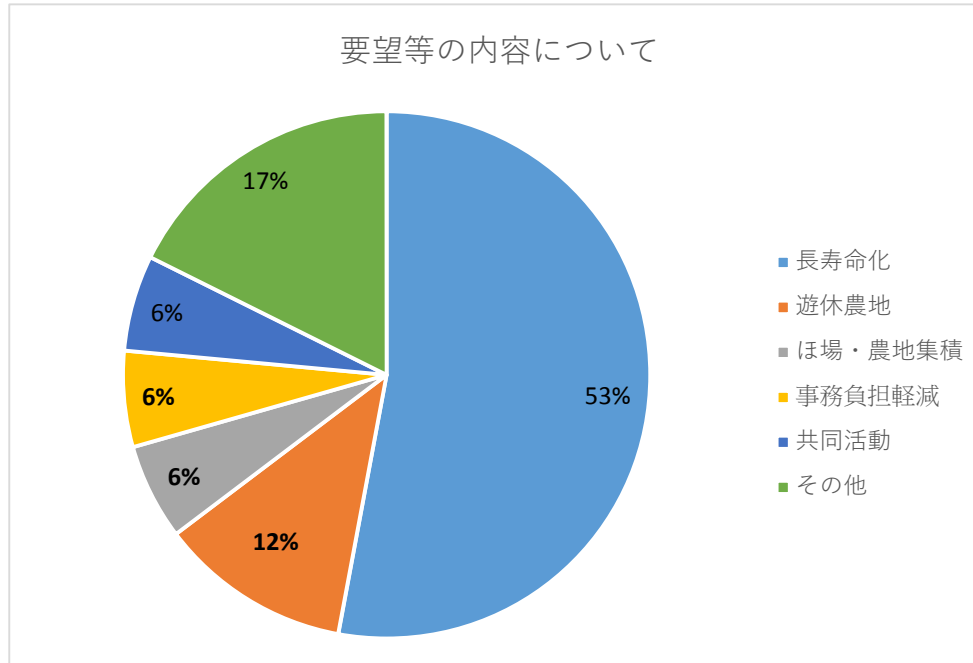
本県は、異常気象等による災害が他県に比べ比較的少ない地域特性もあり、取り組みとして少ない結果となっている。



(7) その他

①今後、組織で取り組みたい要望等について（自由記述）

今後取り組みたい内容は、長寿命化が半数以上希望をしている。



②多面的機能支援事業で認めてもらいたい取り組み等について（市町村の担当者へ聞き取り）

- ・ 遊休農地対策以外での畦畔撤去
- ・ 暗渠排水の新設、更新

6 評価結果

【評価結果】

- 多面的機能支払交付金の実施により、評価視点6つのうち、次の4項目について効果が確認できた。

- 【地域資源の保全管理】

- 【農村環境の保全・向上】

- 【農業用施設の機能増進】

- 【農村地域の活性化】

- 次の2項目については、効果の発現が低い状況であった。

- 【構造改革の後押し等地域農業への貢献】

- 【自然災害の防災・減災・復旧】

【まとめ】

- 多面的機能支払交付金を推進していくことで、農村が持つ多面的機能の維持・発揮に大いに貢献していると評価でき、引き続き本交付金による支援を行っていくことが必要である。